場所・面積　三重県四日市、約4.7 ha

管理目的　吉崎海岸は希少な動植物の生活史において不可欠な場を提供する砂浜海岸であり、アカウミガメの産卵も確認されている。希少な動植物に不可欠な場であり続け、再びアカウミガメの産卵場所となるような自然豊かな砂浜とすることを目的に管理、活動を行う。

サイト概要　吉崎海岸は四日市市内の貴重な砂浜海岸であり、コンビナート区域に隣接する立地でありながら希少な動植物の生息生育の場となっている。三重県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているシロチドリやハマニガナなどの希少な動植物の生息や繁殖が確認されており、近隣地域における生物多様性の保全に大きく貢献している。申請区域が適切に保全されてきたことは、砂浜海岸という環境が近隣では限られているということのみならず、長年にわたり地域住民及び有志による保全活動が続けられてきたことに因るものだと考えられる。また、この保全活動への参加者は若年層を中心に年々増加している。



土地利用の変遷　以前から砂浜海岸であり、地域住民及び有志による保全活動が続けられてきている。

サイト周辺の環境　吉崎海岸はコンビナート区域、漁港、住宅区域などの人工的な環境と隣接しているものの、吉崎海岸自体は保全活動により自然な状態のまま維持されている希少な場となっている。

アピールポイント

- 貴重な砂浜及び海浜植生を守るための清掃活動・外来植物の駆除と合わせて、山川里海問わず自然に関する勉強会を実施している。
- 長年にわたり活動を継続し、SNS等を積極的に活用した情報発信を行ってきており年々活動参加者・参画企業が増加している。
- 毎月第一日曜日の午前8時という決まった日時に活動し、誰でも参加できるようにしているため、参加への心理的ハードルが低い。
- 清掃活動後には自然学習を行っており、環境意識の啓発にも取り組んでいる。

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

三重県北勢地方では貴重な、海浜植物が残存する半自然砂浜海岸である。海浜植生が豊かで、ハマニガナ、シロチドリの繁殖、アカウミガメの産卵も確認されている。

【主な植生】

砂浜海岸のため、海浜植物が多く分布している

【確認された主な動植物】

植物：ハマニガナ、ハマエンドウ、ハマヒルガオ、ハマボウフウ、
コウボウムギ、
コマツヨイグサ（外来種※）、アメリカネナシカズラ（外来種※）
※外来種として駆除を実施
鳥類：シロチドリ（環境省RL：VU、三重県のRDB：CR）
昆虫類：ヤマトマダラバッタ（三重県のRDB：VU）など
菌類：アバタケシボウズタケ（三重県のRDB：VU）
爬虫類：アカウミガメの産卵を確認 (2014/07/27)



写真の撮影年月：2023/04/02
写真の説明：吉崎海岸で自生するハマボウフウ



写真の撮影年月：2023/04/09
写真の説明：吉崎海岸で開花するハマエンドウ

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

吉崎海岸は三重県北勢地域に位置し、この地域では貴重な砂浜海岸である。砂浜海岸という環境は、特有の動植物が生息する場所として知られている。吉崎海岸にも、砂浜海岸の環境に適応した生物が生育・生息しており、希少な動植物種も複数確認されている。

【確認された希少種】

植物：ハマニガナ（三重県のRDB：NT）
鳥類：シロチドリ（環境省RL：VU、三重県のRDB：CR）
昆虫類：ヤマトマダラバッタ（三重県のRDB：VU）など
菌類：アバタケシボウズタケ（三重県のRDB：VU）
爬虫類：アカウミガメの産卵を確認 (2014/07/27)



写真の撮影年月：2019/07/24
写真の説明：吉崎海岸に自生するアバタケシボウズタケ



写真の撮影年月：2023/04/09
写真の説明：吉崎海岸で開花しているハマニガナ

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容

【管理計画の内容】

■海浜植生

海浜植物の分布の変化を毎月観察し、外来植物については駆除を行う。

近年の吉崎海岸ではハマニガナの分布範囲は広がっており、ハマエンドウの分布箇所が一部に限られている。
一方ハマニガナ、ハマボウフウ、ハマヒルガオはほぼ全域に自生が確認できている。
なお、ハマボウフウは堤防側(西側)、ハマヒルガオは海岸側(東側)と自生範囲のすみわけがされている。
コウボウムギの自生範囲の広がりによって、ハマヒルガオの自生範囲が圧迫されていくことが危惧されているため、分布範囲の確認を行っていく。



モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】

ハマニガナ、ハマヒルガオ、ハマボウフウ、
ハマエンドウ、コウボウムギ

【モニタリング場所】

吉崎海岸南部一帯（写真赤枠の範囲）

【モニタリング手法】

植物の自生地の変化を観察、記録する

【実施時期及び頻度】

毎月第1日曜日海岸清掃実施日

【 実　施　体　制 】

外来植物駆除活動指導者、参加者

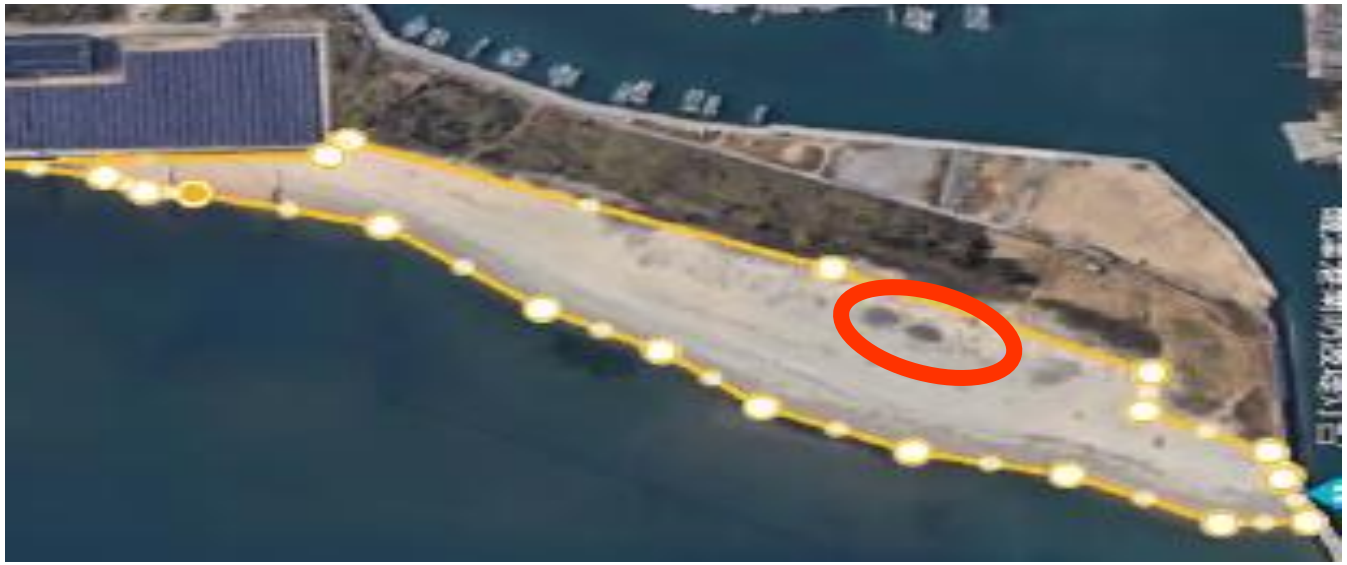
サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容

【管理計画の内容】

■アバタケシボウズタケ（菌類）

当地のアバタケシボウズタケは、コウボウムギ群落近くに発生することが多い。そのためアバタケシボウズタケの発生が確認されているコウボウムギ群落では、外来種であるコマツヨイグサなどの除草、周囲の低木の刈り込みを行うといった管理を実施する。同時にアバタケシボウズタケの新たな発生場所がないかも調査する。



モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】

アバタケシボウズタケ

【モニタリング場所】

吉崎海岸（写真赤枠の範囲の子実体を確認できている場所）

【モニタリング手法】

子実体(キノコ)の発生を確認する

【実施時期及び頻度】

毎月第1日曜日海岸清掃実施日

【 実　施　体　制 】

毎月第1日曜日に清掃活動を実施。
なお、アバタケシボウズタケの発生は散発的で、子実体は何か月もの間、その形をとどめている。

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
【管理計画の内容】 **■昆虫類（希少種）** 対象種は、当地では非常に多くの成虫が確認されているが、コロニーの場所が特定されていない。 コロニーの場所を特定し、その場所の保護を行う。	**【モニタリング対象】** 昆虫類（希少種） **【モニタリング場所】** 吉崎海岸全域の草地 **【モニタリング手法】** 目視・踏査 **【実施時期及び頻度】** 営巣活動が活発な時期（複数回） **【 実　施　体　制 】** 海岸清掃実施日と別日でバッタの活動が活発な気候の時期に指導者と四日市ウミガメ保存会スタッフで調査

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容

【管理計画の内容】

■昆虫類

草地において成虫の発生期である秋にバッタ類、キリギリスなどが多く確認されている。そこで9月を重点時期として、自然勉強会のテーマを毎年バッタ観察会を開催し、参加者とともに調査を実施し記録を行う。



モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】

ヤマトマダラバッタ

【モニタリング場所】

吉崎海岸北部草地（写真赤枠の範囲）

【モニタリング手法】

踏査・種同定
（捕虫網でバッタを捕まえて種類を確認する）

【実施時期及び頻度】

成虫の発生期である9月

【 実　施　体　制 】

海岸清掃後の自然勉強会指導者、参加者

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
【管理計画の内容】 **■鳥類** 過去にシロチドリの営巣活動が確認された場所あたり一帯を、シロチドリの繁殖期に、人が近づかないよう保護区画とする（立ち入り禁止のロープを張る）。 また、繁殖期には海岸清掃開始時にシロチドリが繁殖している可能性を海岸清掃の参加者に伝え、むやみに近づかないよう注意喚起する。 	**【モニタリング対象】** シロチドリ **【モニタリング場所】** 吉崎海岸重点区画（写真赤枠の範囲） **【モニタリング手法】** 繁殖場所に近づかない **【実施時期及び頻度】** 繁殖期の4～7月ごろ **【実　施　体　制】** 四日市自然保護推進委員会